

令和 7 年 2 月 28 日
特定相談支援事業所
エバーグリーン
管理者 若林 靖幸

指定特定相談支援事業 令和 7 年度事業計画

1. 特定相談支援事業の具体的な取り組み

① 個人への充実した対応を目指す

外部相談員とのバランスも取れて相談件数も安定してきましたので、今年度の大幅な収益の増額は見込めません。

しかし個々で見ると支援学校卒業後の進路に悩む親御さんや親の高齢化問題（親なき後の問題）、介護保険への移行など問題を多く抱えている利用者が増えているのが現状です。

個人や家族の相談を受ける時間を増やしたり、ケア会議を多く開いたり個人に対する相談を充実させていきます。

モニタリング 件数目標 120 件/年（月平均 10 件）

② 利用者の高齢化への対応（介護保険サービスへの移行）

B 型・生活介護利用者の高齢化が目立ってきました。介護保険へ移行といっても、80 代中心の介護施設への抵抗を示す利用者もいます。65 歳以上の利用者には介護保険への移行を踏まえ、特定相談員として計画を立てていきます。

数年後を見据えて、「どうなった時は介護保険へ移行する」という認識を、利用者・事業所・特定相談員で共有していきます。

③ 専門研修の受講推進の継続

令和 6 年度は高次機能障害支援体制加算に関する研修を受講することが出来ました。今年度より加算の対象となります。今年度も更新研修や相談に関する専門性の研修を積極的に受講して、個人のスキルアップを目指します。

以 上